

# ぐるぐる便り

2022. **1**  
Vol.190

新年あけまして  
おめでとうございます  
本年もよろしくお願いたします



3R

情報  
発信活動  
支援学習  
体験

## プラスチックごみを減らすには まず「リフューズ」と「リデュース」を!

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

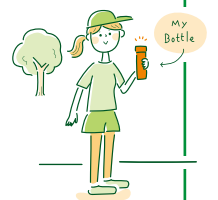


海洋プラスチックごみ問題はいま世界が抱える環境問題の中でも最も深刻なもののひとつ。街から海へと流れ出したプラスチックは太陽や風、波の影響を受けて劣化を繰り返し、マイクロプラスチックと呼ばれる小さなプラスチック片となって海を汚染し、海洋生物へ深刻な被害を与えています。

プラスチックは目に見えないほどの大きさになっても決してなくなることはありません。例えばマイクロプラスチックのうち、1ミリのマイクロビーズと呼ばれるものは角質の除去や洗浄に効果があるとして、いまだ一部の洗顔料や化粧品、歯磨き剤などに使用されており、洗面所や浴室の排水口から海に流出しています。またポリエステルやアクリルなどの合成繊維は、洗濯するたびに大量のマイクロファイバーと呼ばれるプラスチック繊維を空中に放出しています。

とはいえ住宅の壁や床、家電、衣類、日用品など、ありとあらゆるものに使われているすべてのプラスチックを、私たちの暮らしから排除するのは現実的とは言えません。私たちにできることは、可能な限り使わないこと、減らすこと。そこで大切なのが3Rです。

ごみ減量のキーワードとして知られる3R「リデュース (Reduce) =削減」「リユース (Reuse) =再利用」「リサイクル (Recycle) =再生利用」ですが、いまプラスチック削減のために私たちにできるもう一つのRの重要性が訴えられています。それは「リフューズ (Refuse) =断る」です。順番としてはリフューズ→リデュース→リユース→リサイクル。これ以上プラスチックを暮らしの中に持ち込まないためにも日々リフューズとリデュースを心がけ、代替品のあるプラスチック製品を「もらわない」「買わない」「減らす」を実践しましょう。



1. 身の周りのプラスチック製品をチェックし、買い替え時にはできるだけ天然素材のものを選ぶ。
2. 買い物にはマイバッグ、外出時にはマイボトルを持参し、レジ袋や過剰な包装を断る。試供品やノベルティグッズなど不要なものはもらわない。
3. 商品を買う前に、素材や成分をチェックし、マイクロプラスチックのもとになるものは買わない。
4. 可能な限り、量り売りの店を利用する。



# 「海ごみ」に新しいイノチを吹き込み、アートで環境問題を伝える!

アーティスト 柴田 みなみさん

西部3Rステーションの1階エントランスに展示しているカラフルなオブジェ。

KBCテレビ「水と緑の物語」～シリタカ!うみごみアートproject～で、西部3Rステーションとの共同啓発事業として製作された海ごみや廃材を使った体感アート作品『iroiro交差点』です。

この海ごみアートの製作者が西区今津に作業場を構え、海岸に捨てられたごみや漂着物を集めて作品を作るアーティスト柴田みなみさん。昨年、日本財団と環境省の共同事業「海ごみゼロアワード2021」で環境大臣賞を受賞された柴田さんにお話を伺いました。



体感アート「iroiro交差点」

Q 「海ごみゼロアワード2021」環境大臣賞受賞おめでとうございます。

A ありがとうございます。最初は「ごみで作品を作るってどういう事?」って言われる事も多かったんですが、自分が伝えたい事を発信する活動を続けてきてよかったと思います。

Q 「海ごみ」で作品を作ろうと思われた経緯を教えてください。

A 私はもともと絵を描いていて、今津の海岸清掃のPRポスター作成の依頼があった時、初めて海岸清掃に参加したんです。福岡の海にごみはそれほど落ちてないだろうと思っていたらたくさん落ちていて、自分が住んでいる場所なのに知らないということがすごく恥ずかしいと思いました。この現状を身近な人達に伝えたい、そして海がきれいなのは当たり前ではなく、きれいな状態に戻してくれている人たちがいる。その背景も知ってもらいたくて始めました。

Q 「海ごみ」ではなく、あえて「漂着物」と呼ばれていますよね。

A 最初は私自身も「海ごみ」と言っていたし、思っていたんです。でも、どんな物であれ元々ごみとして生まれてきたわけではありませんよね。東日本大震災の時に流された物はロシアやアラスカなどに流れ着いているという話を聞き、もしかすると目の前にあるのはポイ捨てされた物ではなく、実は誰かの大切な物だったかもしれない、そこに落ちているから「ごみ」だという考えはやめようと思いました。以来、「漂着物」とか「漂流物」という言葉で伝えるようにしています。

Q 作品を作る時の素材はどうやって集めているのですか。

A 包装紙など「これ使えるかも」と思うものはとりあえず取っておきます。もちろん自分で海岸に行き行って集めることもありますし、この活動を通じて知り合った方々が提供してくださることもあります。

Q 作品を作る時に大切にしていること、心がけていることはありますか。

A 漂着物そのものの形を見てもらえる様に、素材や質感を損ねないように心がけています。

Q やりがいを感じるのはどんなときですか。

A 結構あれこれ悩みながら作っているので、形になって人に見てもらえるとやってよかったなと思いますね。

Q 今後やってみたいことはありますか。

A 日本のごみの多くはロシアやアラスカに流れ着いていると言うのを聞いて、日本から流れ出たものがどういう状態かを見てみたいです。いつか海外へ日本のごみを拾いに行くのが夢ですね。



日本古来の裂き織りをヒントに作られたオブジェ



柴田みなみさん

## 「フードドライブ」開催中!!

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか?西部3Rステーションでは「フードドライブ」を開催中です。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

**日時** 毎日10:00~16:00※休館日を除く

**場所** 西部3Rステーション2階受付

**対象食品** 未使用・未開封のもの※賞味期限まで1か月以上ある、常温保存可能なものに限ります。

ご家庭で  
余っている食品を  
ご提供ください!

# 2月の3R実践講座

福岡市内に在住の方、通勤、通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。自宅に眠っている着物や布地をリメイクしてみませんか？

## パッチワーク教室【全8回】

着なくなった服や着物、手持ちの端切れ等を組み合わせ、パッチワークの小物作りを学ぶ。

**日時** 令和4年2月1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)  
3月1日(火)、8日(火)、15日(火)、26日(土) 原則火曜日  
13:00～16:00

**定員** 8名(抽選)

**参加費** 1,000円

**場所** 2階研修室

**応募締切** 1月19日(水)必着

### 主な材料

1作目ミニバッグ材料:布2種類(各40センチ×50センチ)～12種類(各15センチ×30センチ)。型紙用厚紙A5サイズ1枚、60番手の手縫い糸(布の色に合うもの)ほか。



## 着物から体型を選ばないおしゃれコート作り【全4回】

着なくなった着物の生地を使って、着る人の年齢や体型を選ばず気軽に羽織れるコートを作る。

**日時** 令和4年2月2日(水)、9日(水)、16日(水)、23日(水)  
13:00～16:00

**定員** 8名(抽選)

**参加費** 500円

**場所** 2階研修室

**応募締切** 1月19日(水)必着

### 主な材料

着物1枚(ほどいて洗い、アイロンをかけておく)。型紙用紙(模造紙大2枚程度)ほか。



## 着物から2色使いのバッグ作り【全3回】

着物や羽織など2種類の生地を組み合わせたショルダーバッグ作りを学ぶ。

**日時** 令和4年2月10日(木)、17日(木)、24日(木)  
13:00～16:00

**定員** 8名(抽選)

**参加費** 500円

**場所** 2階研修室

**応募締切** 1月26日(水)必着

### 主な材料

表布2種類(A柄:縦30センチ×横40センチ、B柄:縦30センチ×横20センチ)、内袋布:30センチ×1m。型紙用紙ほか。



## 古布で梅とウグイスのつるし飾り作り【全2回】

古い着物の端切れや帯締めを利用して、早春にぴったりのつるし飾りを作る。

**日時** 令和4年2月12日(土)、19日(土)  
13:00～16:00

**定員** 8名(抽選)

**参加費** 500円

**場所** 2階研修室

**応募締切** 1月26日(水)必着



※つるし飾り作りに必要な古布、帯締め等の材料はこちらでキットを準備いたします。

### 応募方法

はがき、FAX、E-mail:seibuplaza2@f-kankyo.or.jpまたは西部3Rステーションの2階受付で①希望講座②住所③氏名④年齢⑤電話番号を必ず明記し、ご応募ください。抽選の上、**当選者のみ**はがきで詳細をご案内いたします。





西部3Rステーションでは、各種体験講座を開催しています。福岡市内に在住の方、通勤、通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか？

## ご来館の皆さまへお願い

### 入館されるすべての方へ

- ・ご利用はできるだけ少人数でお願いします。
- ・発熱、咳等の症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ・館内は**マスク着用**でお願いします。
- ・入口に消毒液を設置していますので、**手指の消毒**をお願いします。
- ・人との距離(2m程度)を保つようお願いします。

### 講座を受講される方へ

- ・受講前に、体調確認と**体温測定**にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、1~2月に開催予定の3R実践講座、体験講座、生ごみ堆肥相談会については、状況により実施を見合わせる場合がございます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

## 1月の体験講座

**すべて無料です!!**

### 牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### 身近なもので万華鏡

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### 食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### 牛乳パックで風車

毎日 10:30~15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



### ハーブ入りリサイクルせっけん作り

水曜日 10:30~11:30  
定員 5名/日(先着順)  
申込 希望日の3日前まで



### 体験講座の申込方法

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、FAXにて下記あてにお申込みください。

## 生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催

日時/1月8日(土)・22日(土)  
13:00~16:00

場所/2F啓発コーナー

参加費/無料 事前申込/不要  
※基材・テキスト購入可



## 福岡市西部3Rステーション

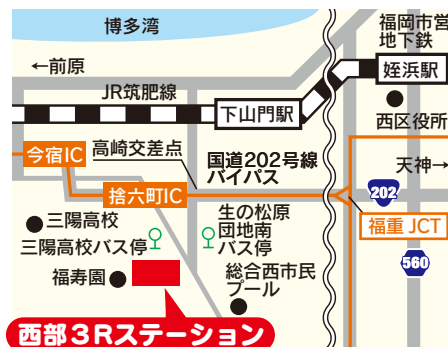
開館時間 **10:00-17:00**  
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 **月曜日**  
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL **092-882-3190** FAX **092-882-4580**

〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

おバスで  
お越しの方  
姪浜・天神・博多方面より  
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分  
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分  
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション



ツイッターは  
こちらから